

令和 8 年 8 月 24 日
九州地方整備局

八代港に大型貨物船が入港しました

国土技術政策総合研究所、港湾空港技術研究所を中心とした専門的検討及び応急復旧工事により大型貨物船の利用が可能となった水深 14m 岸壁に、本日、穀物輸送のための大型のパナマックス※船が着岸しました。

八代港に輸入される飼料用とうもろこしは年間 36.7 万トンと全国 10 位(2024 年)であり、八代港は飼料用穀物の輸入を通じて我が国の畜産を支える重要な物流基盤となっています。

引き続き、全国からの海上支援の受け入れに加え、物流拠点として地域経済を動かすための港湾利用の本格化に向け、港湾施設の早期復旧を進めてまいります。

※パナマ運河の閘門(拡張前)を通行可能な最大の船型の呼称。

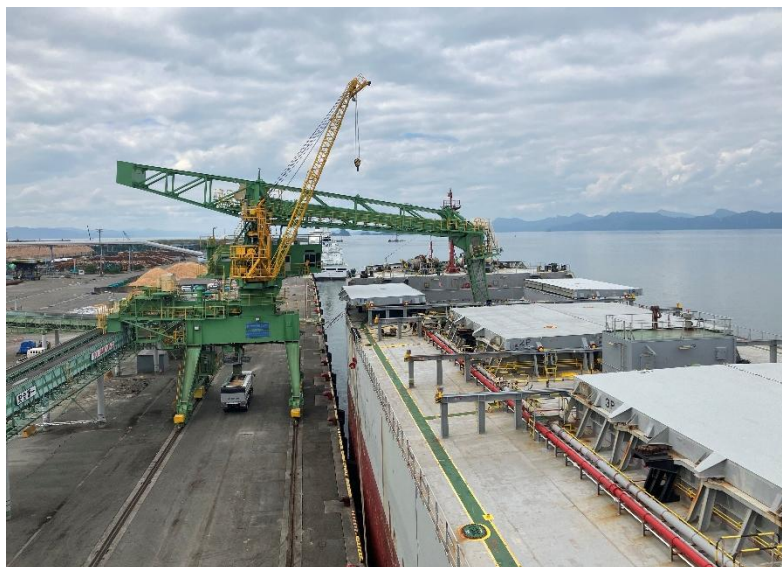
船舶の諸元

船種: ばら積み貨物船、載貨重量トン数: 80,263 トン、全長: 229m、船幅: 32m、喫水: 14m

8月24日の入港時の状況



船倉に積載された飼料用とうもろこし



アンローダーによるトラックへの積み替え

国による港湾施設の一部管理について

- 係留施設の利用可否情報及び利用に関する相談については、以下のホームページをご確認ください。
(URL) https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_mn7_000028.html

【問合せ先】

九州地方整備局 港湾空港部 計画企画官 井上
電話: 092-418-3340(代表)、092-418-3358(直通)

※ 九州地方整備局港湾空港部では、令和8年熊本地震に係る港湾関係の対応状況等を公式 X にて随時発信しています。

